

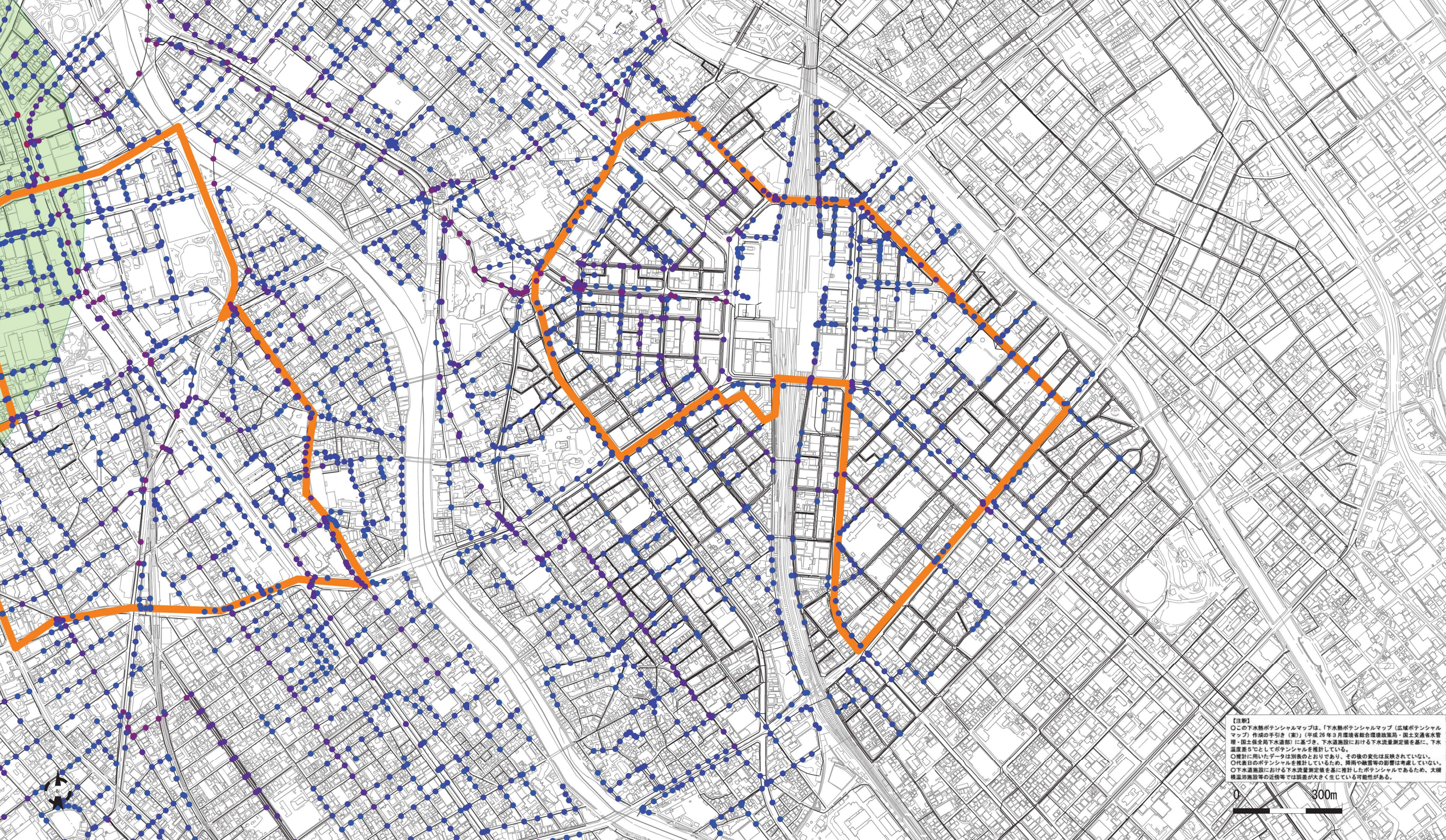
下水熱ポテンシャル

No	下水熱ポテンシャル	住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ~	1,000 [MJ/日]	(14 ~ 29)
1,000 ~	10,000 [MJ/日]	(29 ~ 290)
10,000 ~	100,000 [MJ/日]	(290 ~ 2,906)
100,000 ~	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ~ 29,065)
1,000,000 ~	10,000,000 [MJ/日]	(29,065 ~ 290,651)
10,000,000 ~	100,000,000 [MJ/日]	(290,651 ~ 2,906,513)
100,000,000 ~	1,000,000,000 [MJ/日]	(2,906,513 ~ 29,065,137)

※23年度版 夏期のポテンシャル
 ※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

※集合住宅の給湯熱負荷原単位
 (空衛学会)126[MJ/年]
 住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成24年
	管路・人孔接続情報	平成24年
建物現況	図形	平成24年
	建物延床面積	平成24年
土地現況	位置情報	平成24年
	図形	平成24年
下水データ	下水流量 ・中部水処理センター	平成24年
	下水温度 ・中部水処理センター	平成24年



【注釈】
 ○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ（広域ポテンシャルマップ）作成の手引き（案）」（平成26年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部）に基づき、下水道施設における下水流量測定値を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
 ○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
 ○世帯別のポテンシャルを推計しているため、隣街や隣街等の影響は考慮していない。
 ○下水道施設における下水流量測定値を基に推計したポテンシャルであるため、大規模温泉施設等の近傍等では誤差が大きくなる可能性がある。

